

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report 2

2016 No.737

3 はじめの言葉

4 人彷徨って企業在り

取り戻したい日本型経営

田原文夫

個人には、安心、安定が必要である。デフレ脱却を目指す政権がどんなに金融緩和をしても、企業経営者は不安から過剰に剰余金を積み立て、設備投資も人材投資も減らしている。企業は残っても、これでは、個人に安定も、安心もない。

1 1 情報社会を考える その65

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

社会プロセス改革と連動させて意味がある

日本で今話題のマイナンバーだが、福祉と IT 先進国北欧 4 国にも、マイナンバーに匹敵する個人番号が存在している。それをベースに、高齢者の容態に最適な介護／看護が受けられる。もちろん医療処置も社会復帰のためのリハビリテーション訓練もシームレスに提供されている。病院、リハビリセンター、高齢者介護施設など、各種専門機関の間を転院／移動しても、国民個人の特定確認が正確に行われ、適切なサービスが継続的に受けられる。これも、病院でいうところの個人カルテが、各種専門機関で情報共有できる形で運営されているからである。その基本ベースとなっているのが、個人を特定確認できる国民固有のナンバーの存在である。

1 3 オープンガバメント OG 26

情報社会をすすめる

その60

水田 浩

1990 年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995 年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中で起こっていた。そこで、CALS の一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクルで、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つの CALS という概念(言葉)で 1995 年から 2005 年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

19 連載 アーキテクチャ論 (58)

SPRME

対象・特性・リスク・対策・証拠

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

連載 56 回では、システムが期待される特性を持つことを保証するための視点として、特性、リスク、対策、証拠に基づいて、システム特性を分析するための図による表現方法 PRiME について説明した。今回は、PRiME でも用いた、対象 Subject、特性 Property、リスク Risk、対策 Measure、証拠 Evidence について表で分析する SPRME 法の例を紹介する。さらに、SPRME と保証ケースならびにシステムigramとの関係について述べる。

28 連載 日本再生と人材育成

人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その13

第8話 大学勤務時代(その1)

Dr.ベスト

マルチ人間、スーパー人間と呼ばれてもいいほど、高度成長時代からバブル崩壊、そして今日に至るまで4回の定年退職(1回目:企業の早期退職制度に基づく退職(52才)、2回目:同企業の関連会社における定年退職(60才)、3回目:某大学における定年退職(65才)、4回目:別の大学における定年退職(70才))を経験しながらも「情報と人材」をテーマに働き続けてきた男がいる。その男の生き方は人口減少／少子高齢化時代への挑戦に何らかのヒントを与えることができるのではないかと思われる。その半生を「履歴書」的に紹介させていただきたい(編集部)。

35 IT新時代とパラダイム・シフト

第75回 フィンテック革命と改革が

求められる金融機関

根本忠明

昨年、フィンテックという言葉が、金融業界で大流行した。金融機関にとってビジネスチャンスの到来とみるか破壊者の到来とみるかは識者によって異なるが、久しぶりに大型の技術革新の到来である。始まったばかりのフィンテック革命は、従来の金融機関に対して自己革新を迫っている。この現状と課題について紹介することにしたい。

38 続インテリジェンスへのいざない 73

情報分析の誤りか

欧米のヨミを覆す事態続々

今井 武

世界に冠たるCIAのインテリジェンス活動にもカゲリが出ているのかもしれない。分析してみると、多くの過ちが判る。各国首脳のインテリジェンス競走に注目すると面白い。欧米の宗主国気取りにも大きなカゲリ出ている。個人に付着する情報の面白さをご堪能あれ。

41 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2014年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向運儀	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開港法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなメンバー
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港場建設とバレンタイン
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安室隆雄と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp